

令和4年度事業報告〔概要版〕①

1. 新型コロナウイルス感染症で影響を受けた事業者への支援

中小企業への支援

●国の支援金事前確認業務

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高が減少した中小企業、個人事業主などを対象に国から各種支援金が給付された。当所では、会員事業所を対象に、申請手続きを行う際に必要な登録確認機関の事前確認を実施した。

- ・国の各種支援金事前確認業務
事業復活支援金 193件(R4年4月1日～6月14日)

●新型コロナウイルス感染症に関する支援対応

新規事業に利用できる補助金やコロナ禍で厳しい資金繰りにある事業者の支援に取り組んだ。

- ・経営金融相談会の実施
開催回数 3回
相談者数 19社
- ・一日公庫の実施
開催回数 1回
相談者数 2社

●経営相談体制の強化

- ・特別経営相談会の実施
- ・エキスパートバンク事業(専門家派遣)の実施
派遣件数 6件
登録専門家数 61名

●会員事業所影響調査

会員事業所への調査を4回実施し、新型コロナウイルス感染拡大の影響や景況感の聞き取り等を行うと同時に、会員ニーズの把握に努めた。

- ・景況調査
回答数 4月 662社・2019年比で売上が減少と回答した事業所の割合 48.9%
7月 557社・ " " 47.0%
10月 629社・ " " 48.9%
1月 533社・ " " 36.6%

地域経済の回復

●「八戸市プレミアム商品券」の発行

原油価格・物価の高騰により、経営環境が悪化する事業者を支援するとともに、家計の負担軽減を図ることを目的に、「八戸市プレミアム商品券」を発行した。全八戸市民を購入対象として1人1セット購入でき、発行総額・プレミアム率ともに過去最大となった。商品券は、全参加店舗で利用可能な共通券(1,000円券×9枚)と地元参加店のみに利用可能な地元応援券(1,000円券×6枚)の2種類。1万5,000円分を1万円で販売した。

- ・参加店 1,305店
- ・発行額 28億2951万円(18万8634人×1万5000円分)
- ・換金額 28億2004万2000円(換金率99.7%)
※全店共通券169万2173枚、地元応援券112万7869枚
- ・利用期間 令和4年10月14日～令和5年2月13日



▲八戸市プレミアム商品券

●「八戸市プレミアム食事券」の発行

飲食関連業界全体の消費拡大と地域経済の回復を図ることを目的に、「八戸市プレミアム食事券」を発行した。食事券の販売は、専用はがき又は特設WEBサイトからの事前予約による販売であったが、発行総数を上回る申込があったため、80,000セットを抽選して販売した。この販売期間終了後、当選者が引き換えに出来ない、購入上限まで買わないなどの理由で残部が発生したため、追加販売を実施し完売した。

- ・参加店 477店
- ・発行額 5億2000万円(8万セット×6500円)
- ・換金額 5億1797万6000円(換金率99.6%)
- ・利用期間 令和4年7月29日～令和5年1月23日



▲八戸市プレミアム食事券

●飲食店応援キャンペーン

飲食店の販売促進に寄与すべく、八戸商工会議所会員事業所及び市内に店舗を有する事業所が参加店となり、飲食500円ごとに1枚(1会計10枚まで)抽選券を配布。景品として地場産品3ヶ月分や参加店の食事券が1,020名に当選した。

- ・実施期間 令和4年9月1日～10月31日
- ・参加店 181店舗(当所会員)
- ・抽選券配布枚数 1,030,000枚
- ・抽選回数 495,893回
- ・当選者 1,020名
- ・景品総額 7,000,000円相当



▲キャンペーンチラシ

令和4年度事業報告〔概要版〕②

2. 中小企業支援

伴走型経営支援の実施

(R5.3月末集計時点)

●経営計画策定支援

令和3年3月26日に国の認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき、中・長期的な振興ビジョン「小規模事業者における『元気・活力回復』」を達成する為、各種事業を実施した。

- ・経営状況分析 99件
- ・事業計画策定事業者数 92件
- ・フォローアップ実施事業者数 116件

●各種補助金申請支援

- ・持続化補助金・一般型 申請32件 採択28件
- ・ものづくり補助金・一般型 申請2件 採択0件
- ・事業再構築補助金・通常枠 申請2件 採択0件

●金融支援

- ・マル経融資 16件 11,670万円(R3:11件 7,210万円)
- ・マル経利子補給 事業者数 55者 補給金額 175万円
(R3:事業者数 77者 補給金額 318万円)

●経営改善相談

- ・窓口相談 4,425件(R3:5,488件) ※電話・オンラインによる相談を含む
- ・巡回相談 2,474件(R3:1,845件)
- ・講習会開催による指導 45回 1,603名(R3:31回 933名)
- ・WEBセミナーアクセス数 3,301件(R3:3,174件)

●記帳継続指導・労働保険等の事務代行

- ・記帳継続指導 88事業所 360回(R3:88事業所 493回)
- ・労働保険事務代行 154事業所(R3:154事業所)

はちのへ創業・事業承継サポートセンター(8サポ)

●創業支援

創業に関する相談対応やセミナーを開催し、创业者の増加に向けた支援及び開業後のフォローを実施した。

創業実績件数の推移

H30	R1	R2	R3	R4
36件	47件	35件	35件	39件

- ・創業実績 39件(R3:35件)
- ・相談件数 対面 369件(R3:360件)
電話 34件(R3:62件)
メール 156件(R3:66件)
- ・創業フォロー 391件(R3:336件)
- ・創業スクール 1回3名(R3:1回12名)
- ・女性創業スクール 1回10名(R3:1回21名)
- ・創業セミナー 4回48名(R3:3回41名)
- ・創業融資利子補給
事業者数 32者(R3:32者)
補給金額 670,000円(R3:620,000円)



▲セミナーの様子

●事業承継支援

事業承継に関する相談や掘り起こしの他、事業承継に関するセミナーを開催した。

- ・承継成立支援 8件(R3:5件)
- ・相談件数 69件(R3:83件)
- ・セミナー 1回17名(R3:1回18名)

●販路開拓支援

新商品開発や既存商品の改良に取り組もうとする食品製造業者を対象とした商品開発・販路開拓支援や、国内有力バイヤーを招聘しての個別商談を実施した。また対面での展示商談会及びオンライン商談会への出展社募集・支援等を行った。

- ・首都圏販路開拓のためのテストマーケティング支援 1社参加
- ・地元販路開拓のための支援 2社参加
- ・バイヤー招聘による個別商談 10社参加
- ・東北復興水産加工品展示商談会への協力 12社参加(商談数315件)
- ・消費地商談会(計8回開催) 計12社参加

令和4年度事業報告〔概要版〕③

3. 地域経済の振興

●要望活動の実施

行政機関に対して、景気対策、中小企業支援、社会基盤整備などに関する要望活動を実施した。

- ・国土交通省へ八戸港の整備促進ほか要望
- ・八戸市への要望 最重点6項目 重点15項目
- ・県連・東北六県連共同要望など

はちのへ活性化プロジェクト

●3委員会を設置

令和4年11月に当所の役員・議員が新体制となり、地域の諸課題に対応するため「はちのへ活性化プロジェクト」を立ち上げ、「**中心街委員会**」「**観光委員会**」「**取引拡大委員会**」の3つの委員会を設置し、令和5年2月に委員等を委嘱。令和5年度において各種事業に取り組むこととした。

Buyはちのへ運動による地域循環型経済の構築

「地元購買・地場産品愛用・八戸ブランド応援」の基本コンセプトを市民及び事業所に普及することにより、景気動向に左右されない自立的な地域循環型経済の構築を目指し、各種事業を実施した。

●Buyはちのへ事業

- ・Webサイトリニューアルに伴うサポーター募集 登録者数 **260**社
- ・各種媒体を活用した情報発信事業 サイト閲覧数 **42,022**回
閲覧ユーザー数 **23,239**件
LINEスタンプ販売数 **192**件
- ・メルカリShop出店セミナー参加者 **26**名
- ・市内幼児施設への周知(紙芝居DVDの配付) **17**施設**83**枚

●市内商店街合同お買い物スクラッチ大抽選会事業

市内商店街での消費喚起や来街機会の創出、商店会等への加入促進に図るため、当該事業を実施した。

- ・参加店数 **138**店
- ・スクラッチカード発行枚数 **72,300**枚
- ・景品総数 **1,000**本(310万6千円分)



▲配付したスクラッチカード

賑わい溢れる中心市街地づくりの推進

●はちのへホコテン

中心市街地を市民の憩いの場として開放し、賑わいの創出による来街動機の高揚を図ることで、広く市民等に定着し中心市街地商業等の活性化の推進に寄与することを目的に開催。



▲はちのへホコテンの様子

- ・開催日時 6月～10月の毎月最終日曜日11:30～15:30

食による地域ブランドの形成

●八戸前沖さばの普及・販路拡大

令和4年度は、八戸港の水揚げ量が少なく、脂質も十分な数値に達していなかったため、ブランド認定は見送った。認知度向上や加工品PRのため、サバ加工品ちよい足しレシピ教室の開催、サバの定額サービス「さばスクリプション」等を実施した。

●八戸らーめんの普及・販路拡大

令和4年度は八戸らーめん復刻20周年の年であり、記念事業として「八戸らーめん探訪ポイントラリー」を開催した。また、20周年記念ロゴマークを作成し、記念事業の販促物等に使用した。この他、お土産品用スープのリニューアル、仙台でのイベント出展等、PR活動を行った。



▲八戸らーめん探訪ポイントラリーのポスター

●地域資源クロスコンテンツ事業

主な経済振興事業として取り組んでいる商店街活性化や地域ブランド形成事業(主に八戸らーめん、八戸前沖さば)を有機的に結びつけることで、事業効率化と認知度向上による販路拡大を図った。

- ・商品・サービス力向上セミナー **8**名参加
- ・商店街を歩いてめぐる謎解きイベント **340**組参加
- ・八戸らーめんテスト提供in藤沢・いわき **1,270**食提供
- ・提供店 **2**店舗増加



▲謎解きイベントポスター

令和4年度事業報告〔概要版〕④

4. 組織力の強化

組織と財政基盤の安定・強化

● 会員数

組織力強化のため、新規入会勧奨、退会防止など会員増加運動に取り組んだ。

会員数の推移

H30	R1	R2	R3	R4
3,595名	3,527名	3,463名	3,391名	3,364名

● 共済制度等の推進

えんぶり共済の加入キャンペーンを実施するなど、各種共済・福祉制度、およびその他保険制度を積極的に推進し、会員事業所の福利厚生の上昇に努めた。

- ・えんぶり共済加入事業所数 **1,324社**
- ・特定退職金共済加入事業所 **430社**
- ・休業補償プラン事業契約者数 **76社**
- ・業務災害補償プラン事業契約件数 **282件**
- ・ビジネス総合保険制度契約件数 **261件**
- ・海外危機対策プラン契約件数 **1件**
- ・個人情報漏えい賠償責任保険制度加入者数 **8社**



▲えんぶり共済パンフレット

● パソコン教室の運営

パソコン教育や各種資格取得教育を推進するため、令和3年5月17日に当所6階にパソコン教室を開設した。パソコン初心者向けの入門系講座から、実務に役立つオフィス系講座等、多くの講座が受講できる。また、簿記検定等のネット試験も導入している他、受験者のための各種検定試験対策講座も行っている。



▲パソコン教室の様子

- ・年間受講数 **15,964受講**
- ・講座内容(例)
 - 初心者向け講座(パソコン入門、ネットワーク入門、パソコンテクニク等)
 - ビジネスソフト講座(ワード入門、エクセル入門、弥生会計講座等)
 - 日商検定対策講座(日商PC検定、日商ビジネス英語検定、日商簿記初級講座等)
 - 趣味系講座(インターネット活用、筆ぐるめ応用、CAD入門講座)

会員サービス事業の実施

● 商工従業員表彰

会員事業所の永年勤続従業員の方々に、当所会頭並びに事業主の連名による表彰状を作成し、**14社65名**に交付した。

● 創業創立記念表彰

永年に亘る企業活動を称え、**97社**を表彰した。

● 広報活動

- ・八戸商工ニュース発行 **17回**
- ・はちのへビジネス情報便
(商工ニュース会員向け PRチラシ同封サービス)
- ・会員向けメルマガ配信 **5回** 配信先 **530事業所**



▲八戸商工ニュース

● 青年部

令和4年度は青年部創立35周年にあたり、今後5年間のビジョンを策定した他、コロナ禍に対応しながら各種事業を実施した。東北エリアの青年部との交流と八戸のPRを目的とした「第8回東北ブロックYEGフットサル大会in八戸」、冬のみなと地区の賑わい創出を目的とした「館鼻ツリーイルミネーション」、南部圏域の牛・豚・鶏・馬肉を使用したフード販売を行い地域活性化及び地場産品の認知度向上を図る「三八肉サミット」、会員の資質向上を目的とした「広報戦略セミナー実践編」等、多様な事業を展開した。



▲YEGフットサル大会in八戸

● 女性会

令和4年度は、視察交流事業として令和元年度以来3年振りに、全国大会や東北六県連大会、青森県連大会に参加した他、八戸市長と市内女性団体との意見交換会に参加した。また、八戸商工会議所が実施した、市内小規模事業者の新品や改良商品を試飲・試食して女性目線でのアドバイスを行う「試食アンケート調査事業」へ協力した。



▲全国福島大会へ参加